

**令和4年度 公社等経営評価シート**  
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概	名称	一般社団法人宮崎県酪農公社		所在地	都城市御池町無番地		
	電話番号	0986-33-1816		ホームページ	<a href="http://m-chikusan.jp">http://m-chikusan.jp</a>		
	設立年月日	昭和43年8月12日	代表者	理事長	平島善範	県所管部・課	農政水産部畜産新生推進局 畜産振興課
	総出資額	160,580 千円		県出資額	80,000 千円	県出資比率	49.8%
要	設立目的	県内における畜産農家の乳用育成牛預託に係る哺育、育成及び家畜の能力検定、乳用牛・肉用牛の育成・繁殖等を行うことにより、畜産の近代化を強力に推進するとともに、家畜の生産改良を促進し、もって当該地域の農業生産力の増強と農業者の経済的社会的地位の向上を図ることを目的とする。					
	特記事項						

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
①公社等のあり方見直し		(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(計画)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善 次期経営改善計画策定 経営改善計画の確実な実行	(実績)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。	(実績)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施し、令和6年度を目標とする次期経営改善計画を策定した。	(計画)令和6年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。
		財務改善 単年度黒字化 累積欠損金の削減	(実績)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげたことで、単年度黒字化を達成できた。	(実績)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげたことで、単年度黒字化を達成できた。	(計画)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげ、単年度黒字化を達成する。
		組織等適正化 効率的な組織体制の構築 経営管理技術及び生産技術の向上	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(計画)施設規模・頭数規模にあった人員配置(組織体制)を行い、更なる効率化を図り、人材育成に努める。
③県と公社等の関係	人的支援見直し 運営改善を図るための指導体制の維持	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(計画)酪農公社の経営の自立化の促進を図るために、経営改善チーム会議や実績検討会による継続的な経営改善指導を実施する。	
	財政支出見直し 運営補助金の見直し検討	見直し済み	見直し済み	見直し済み	
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(計画)ホームページでの情報公開の更なる充実を図る。	

	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	11	2	0	9	11	2	0	9
	常勤	1	0	0	1	1	0	0	1
	非常勤	10	2	0	8	10	2	0	8
	職員数	15	0	0	15	15	0	0	15
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	0	300	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	2,769	4,794	5,069	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等	宮崎県酪農公社強化育成事業に係る県からの借入金120,000千円 (R3. 4. 1~R4. 3. 31)								

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和3年度	令和4年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	宮崎県酪農公社運営強化対策事業	酪農公社施設整備等に係る起債償還額の一部助成	2,769	2,769	補助金
②	未来の畜産を担う人材育成事業	酪農公社を働く場兼高度な研修の場と位置づけ、研修型雇用による人材育成への助成	2,300	2,417	補助金
③					
④					
⑤					

実施事業	①預託事業（農家からの乳用牛の哺育、育成預託） ②乳用素牛供給事業 ③生乳生産・販売事業 ④和牛子牛生産・販売事業 ⑤自給飼料生産事業							
	活動指標	指標名	算式（単位）	令和3年度			令和4年度	令和5年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
		① 預託牛入牧延べ頭数	頭	255,500	268,113	104.9%	255,500	255,500
	② 年間生乳出荷数量	トン	868	1,020	117.5%	1,000	1,000	
	③							
指標の設定に関する留意事項		令和4年3月に策定した経営改善計画の数値を基に目標を設定						

	正味財産増減計算書（千円）			貸借対照表（千円）		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	441,466	441,733	443,308	資産	305,270	308,189
経常費用	429,480	434,888	438,743	流動資産	128,127	119,765
当期経常増減額	11,985	6,845	4,565	固定資産	177,144	188,424
経常外収益	1,084	641	759	負債	438,170	438,125
経常外費用	4,862	4,452	3,739	流動負債	379,071	382,403
当期経常外増減額	-3,778	-3,811	-2,979	固定負債	59,099	55,723
税引前当期一般正味財産増減額	8,207	3,034	1,585	正味財産	-132,899	-129,936
法人税・住民税及び事業税	71	71	71	指定正味財産	160,580	160,580
当期一般正味財産増減額	8,136	2,963	1,514	（うち基本財産への充当額）	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	（うち特定資産への充当額）	0	0
一般正味財産期末残高	8,136	2,963	1,514	一般正味財産	-293,479	-290,516
当期指定正味財産増減額	0	0	0	（うち基本財産への充当額）	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	（うち特定資産への充当額）	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0			
正味財産期末残高	8,136	2,963	1,514			

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値	
	①	当期収支差額	当期純利益（千円）	4,878.0	1,514.9	31.1%	2,426.8	3,064.4
		※ 令和3年度 実績値の算式	1,515千円					
②	自己収入比率	自主事業収入/総支出額×100（%）	101.2	95.3	94.2%	100.2	100.3	
	※ 令和3年度 実績値の算式	418,075千円/(346,122千円+92,621千円)×100						
③	管理費比率	管理費/総支出額×100（%）	24.5	21.1	113.9%	23.8	25.0	
	※ 令和3年度 実績値の算式	92,621千円/(346,122千円+92,621千円)×100						
指標の設定に関する留意事項		当社の課題は累積欠損金の早期解消であり、令和4年3月に策定した経営改善計画に基づき、当期収支差額の黒字化を指標としている。						

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>基幹事業である乳用牛育成預託部門について、県内の酪農家への周知活動等により、預託頭数は目標頭数を上回ることができた。そのため、収入を確保することができ、令和3年度は単年度黒字化を達成することができた。 また、乳用牛部門においても、1頭当たり年間出荷乳量が8,506kgと前年比103%と上回ることができた。 令和4年度に向けても関係機関と連携し令和4年3月に策定した第4次経営改善計画を確実に実行し、黒字化を達成する。</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>県内酪農家への乳用牛育成預託にかかる説明会や、パンフレット等の配付などの周知活動の結果、預託頭数は、令和2年度に引き続き目標頭数を確保することができた。 また、県外からの外部講師による人工授精等の受胎率向上の技術指導や、畜産試験場の研究員による定期的な技術指導により、職員の飼養管理技術も向上している。 令和3年度も令和2年度に引き続き単年度黒字化を達成できたので、引き続き令和4年度についても、飼料や資材の物価高騰等は懸念されるが、令和4年3月に策定した第4次経営改善計画を確実に実行し、単年度黒字を達成する必要がある。</p>
	<p>評価（A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い）</p> <p>改革工程</p> <p>活動内容</p> <p>財務内容</p> <p>組織運営</p>	<p>評価（A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い）</p> <p>改革工程</p> <p>活動内容</p> <p>財務内容</p> <p>組織運営</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、預託頭数、生乳出荷量の実績がともに目標を達成しており評価できる。 財務内容については、経常黒字を維持し、管理比率及び自己収入比率も達成又はおおそ達成しており、一定の評価ができるが、債務超過額は、前年度より圧縮したものの、依然として約1億3千万円となっており厳しい経営状態が継続している。 令和4年3月に策定した経営改善計画(令和4年度～令和6年度)に基づき、預託事業を中心とした収入確保に努め、更なる経営改善を図ることが求められる。</p>